

変わらぬもの 変わるもの

武蔵大学非常勤講師 毛塚万里

■ある虫喰穴 香川大会参加の直前、私用で、某個人文庫所蔵の史料調査に出かけた。冊子を順にめくっていくと、途中、虫損穴の付着箇所に出くわした。「あれ、まさか…。」予感的中。持参の紙焼を確認したところ、眼前の虫穴は、ある機関が1990年に実施したマイクロ撮影時には無いものであった。

X県内では、当該文庫は指定文化財も有する著名な存在で、県教育委員会では報告書も刊行済だ。設立間もないものの、X県には、県立文書館や博物館等の史料保存利用機関も複数ある。それでも、県内の個人所蔵史料のケアまでは、カバーしきれないのだ。全体に湿気を帯びている点も気になり、それとなく尋ねると、蔵を新築中だが、保存環境が相変わらず心配だという。その声に接しながらも「県立の〇〇が相談に応じてくれるはずですよ」とは明言できなかった。

X県では、N県のように、出張薫蒸を実施する体制はおろか、複数の県立機関間での事業分担も未決に映る。今後の展開を注視する現状では、個人的な人脈に恵まれない限り、全史料協の会員であろうとも、手をこまねくばかりで方策が見出せない。これは、ひとり筆者だけの問題であろうか。民間所在の史料たちが災害に一番弱いと痛感した阪神・淡路大震災から、早3年が経過している。

■歴史資料のイメージ 歴史資料のイメージを学生に尋ねてみたところ、ある回答が印象的だった。「歴史資料、と言われて想起するのは、社会科資料集に載る写真のイメージです」。なるほど。大多数の人々が、日常の現用記録や身近な私記録、フロッピーディスク等が保存価値を秘めるとは思わない、その背

景を象徴する一断面かもしれない。

■鑑定番組効果? 視覚からのイメージ・影響力の大きさは、T局の鑑定番組が筆頭だと思う。骨董的価値イコール歴史的価値だと誤解を与えるデメリットもある。しかし、身近なモノが意外な歴史的価値をもつのだという認識を多くの市民に植え付けたメリットもまた見逃せない事実だろう。

歴史資料の所蔵者・保存担当者・利用者に対する番組の影響力や社会的役割についてのレポートを課してみた。地域への帰属意識が希薄な市民層の場合、地元の史料保存利用機関への相談よりも、テレビ番組のほうに親近感を有する日常感覚。少なくとも、敷居を低く感じるような印象を、番組の特集や学生の感想からもつように至った。

■下張文書・廃棄文書ショック 元古紙回収業者と現役表具師の収集家が登場する日経新聞97年9月1日文化欄と『サライ』97年第20号の「話題・ピープル」を読ませ、「史料にとっての一番幸福なあり方」を学生自身に考えさせてみた。授業の合間に予備知識を吹き込んでいたとはいえ、予想以上の「気付き」を自力獲得したことに驚いた。

「それを発見し、保存しようとする人の存在がなければ、史料としてどころかゴミとして捨てられてしまうそんな状況にまだ多くの史料がおかれている(中略)そのようなことを防ぐためにも、今、存在する様々なものが後世、史料として保存されていけるようなシステム、また、一般の人々と専門家との交流の場をつくり、お互いに史料を発見し、保存しようとする意識をたかめあうことが必要であると思う。そうすることで、多くの史料が、

正しい歴史認識、地域発展への重要な道標となって、よりよい、史料の発見から保存・研究・教育普及という循環が促進されていくと思う」。以上はある2年生の感想だ。

親戚から史料の保存相談を持ち込まれたらどうするかと尋ねたら、トップ回答は「大学の先生に相談」だった。そのためか、「(下張り文書を)大学の先生にも見せたりしたのですが、研究したいという方はいませんでした」という『サライ』の記事は、衝撃をもって多くの学生が受け止めた。必ずしも正確な現状を反映しない箇所もある記事なのだが、史料の「価値」を問い直す作業を通して、いわゆる研究者とは違う能力をもつ専門職の必要性を、何人かの学生が指摘してきた。

この2年間に筆者が接したのは、公文書館法制定時には小学生だった20歳前後の学生

だ。のべ100名弱の約9割強は、都府県立文書館が設立済で活動蓄積もある関東圏の在住・出身だ。それでも開講当初は、図書館・博物館・美術館、文書館・公文書館の日本語に相当する英語名称や各施設の役割の違いは、曖昧にしか説明できなかった。つたない実験にすぎないが、これとても、法制定から十年過ぎた現実の1コマである。

学芸員課程履修者でない一般学生でも、問題意識の値付は可能だ。諦めを憶えるだけではなるまい、自分に何ができるのか、それぞれが、それぞれの場所で、自身の問題として実行していかなければ、20年たっても変化の兆しはありえまい。活気とは疎遠な雰囲気以身を置きながら、そんな、とりとめのないことが去来し続けた。全国大会参加3度目の3日間を過ごした。